

淡江大学設立70周年記念行事シリーズ活動

2020年第9回村上春樹国際シンポジウム
—村上春樹文学における「運命」—
プログラム

場 所 淡江大学淡水キャンパス (新北市淡水區英專路151号)
会 場 驚声国際会議センター・T 311
進行形式 両会場ともオンラインによる参加も可 (ビデオ会議システムとしてMS Teamsを利用)
時 間 2020年7月4日(土)・7月5日(日)
申込み先 <http://enroll.tku.edu.tw/course.aspx?cid=TFJEX20200704>
申込締切 2020年6月29日(月) 8:00 AM までに

1日目・2020年7月4日(土曜日)		
0900-0930	受付(驚声国際会議センター前)	
0930-0950	開会式 会 場 驚声国際会議センター 開会挨拶 曾 秋桂(淡江大学教授兼村上春樹研究センター長・日本語文学科主任) 浅田 雅子(公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所広報文化室主任)	
0950-1000	休憩時間	
1000-1100	基調講演 1 会 場 驚声国際会議センター 司 会 頼 振南(輔仁大学教授) 題 目 運命・必然・偶然 —村上春樹の小説におけるミッシング・リンカー— 講演者 中村 三春(北海道大学教授)	
1100-1200	基調講演 2 会 場 驚声国際会議センター 司 会 頼 錦雀(東呉大学特聘教授) 題 目 精神病理学的な視点から村上春樹を読む 講演者 斎藤 環(筑波大学教授)	
1200-1300	昼食時間	
1300-1305	セッション 1 会場 驚声国際会議センター コメンテーター 邱 若山(静宜大学教授)	セッション 2 会場 T311 コメンテーター 小澤 自然(淡江大学准教授)
1305-1325	曾 秋桂(淡江大学教授) 三部作として読む『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』の運命—「五月」、「手」、「夢」、「父」を手掛かりに—	余 盛延(台北科技大学教授) Dreams and Fate in Haruki Murakami's Dance Dance Dance
1325-1345	范 淑文(台湾大学教授) 『海辺のカフカ』の一考察—ストーリーの軸を支える「運命」—	ダルミ・カタリン(広島大学助教) 村上春樹文学におけるファム・ファタールと男たちの運命—『女のいない男たち』を中心に—
1345-1355	質疑応答	質疑応答
1355-1400	休憩時間	
1400-1405	セッション 3 会場 驚声国際会議センター コメンテーター 楊 琇媚(南台科技大学准教授)	セッション 4 会場 T311 コメンテーター 内田 康(淡江大学准教授)
1405-1425	頼 錦雀(東呉大学特聘教授) 村上春樹と猫との運命的な出会い—『うずまき猫のみつけかた』を中心に—	高橋 龍夫(専修大学教授) 「象の消滅」論—象の表象とその運命—
1425-1445	黄 如萍(高雄餐旅大学准教授) 〈運命〉としての「ウィズ・ザ・ビートルズWith the Beatles」論—撰取の関係と共に—	植 朗子(神戸大学協力研究員) 怪異を引き寄せる「運命」—村上春樹『レキシントンの幽霊』における「緑色の獣」と「氷男」—
1445-1455	質疑応答	質疑応答
1455-1505	休憩時間	
1505-1510	セッション 5 会場 驚声国際会議センター コメンテーター 黄 如萍(高雄餐旅大学准教授)	セッション 6 会場 T311 コメンテーター 李 偉煌(静宜大学准教授)
1510-1530	王 佑心(銘伝大学准教授) 村上春樹『ハナレイ・ベイ』を読む—運命の旅・人—	横道 誠(京都府立大学准教授) 世界文学の宿命を超えて—村上春樹、大江健三郎、筒井康隆の影響関係を考察する試み—
1530-1550	石川 隆男(台湾大学講師) 『スプートニクの恋人』の運命的な変化—すみれ及びミュウ—	阿部 翔太(広島大学博士後期課程) 「運命」を告げる音楽—村上春樹『イエスタデイ』論—
1550-1600	質疑応答	質疑応答
1600-1700	晩餐会 会 場 驚声国際会議センター(驚声ビル3階)	

主 催 淡江大学村上春樹研究センター・淡江大学日本語文学科
共 催 科技部・台湾日本語教育学会
後 援 公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所

淡江大学設立70周年記念行事シリーズ活動

2020年第9回村上春樹国際シンポジウム
—村上春樹文学における「運命」—
プログラム

場 所 淡江大学淡水キャンパス (新北市淡水区英専路151号)
会 場 驚声国際会議センター・T 311
進行形式 両会場ともオンラインによる参加も可 (ビデオ会議システムとしてMS Teamsを利用)
時 間 2020年7月4日(土)・7月5日(日)
申込み先 <http://enroll.tku.edu.tw/course.aspx?cid=TFJEX20200704>
申込締切 2020年6月29日(月) 8:00 AM までに

2日目・2020年7月5日(日曜日)		
0930-1000	受付(驚声国際会議センター前)	
1000-1100	基調講演3 会場 驚声国際会議センター 司会 黄 翠娥(輔仁大学教授) 題目 村上春樹文学における運命 講演者 沼野 充義(名古屋外国語大学副学長)	
1100-1105	休憩時間	
1105-1110	セッション7 会場 驚声国際会議センター コメンテーター 彭 春陽(淡江大学教授) 柳原 孝敦(東京大学教授)	セッション8 会場 T311 コメンテーター 楊 錦昌(輔仁大学教授) 齋藤 正志(中国文化大学教授)
1110-1130	キャラクター小説論再考:『騎士团长殺し』と上田秋成	「運命」の人々—「色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年」における3人の女性—
1130-1150	人間の運命を支配する化物たち—民俗学から読む村上春樹文学—	村上春樹文学におけるマイノリティーの運命
1150-1200	質疑応答	質疑応答
1200-1300	昼食時間	
1300-1305	セッション9 会場 驚声国際会議センター コメンテーター 林 立萍(台湾大学教授) 落合 由治(淡江大学特聘教授)	セッション10 会場 T311 コメンテーター 王 嘉臨(淡江大学准教授) 楊 炳菁(北京外国語大学准教授)
1305-1325	村上春樹作品における運命—テキストマイニングによる探究—	村上春樹文学における運命—短編小説「四月のある晴れた朝に100パーセントの女の子に出会うことについて」を中心に—
1325-1345	村上春樹文学における「運命」—『アンダーグラウンド』と『約束された場所で』を中心に—	村上春樹『1084』における運命
1345-1355	質疑応答	質疑応答
1355-1400	休憩時間	
1400-1405	セッション11 会場 驚声国際会議センター コメンテーター 范 淑文(台湾大学教授) 廖 秀娟(元智大学准教授)	セッション12 会場 T311 コメンテーター 齋藤 正志(中国文化大学教授) 山根 由美恵(山口大学特命准教授)
1405-1425	〈消えてゆく女〉という観点から読む『女のいない男たち』	『ねじまき鳥クロニクル』再考—トラウマという「運命」を超えて—
1425-1445	変奏される「運命」の女—村上春樹と福永武彦—	村上春樹の作品を使用した読解の授業報告—アクティブラーニングを用いた『ノルウェイの森』の一考察—
1445-1505	村上春樹『風の歌を聴け』における人間関係—「運命」を視座にして—	『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』における機械の運命論
1505-1520	質疑応答	質疑応答
1520-1530	休憩時間	
1530-1600	パネルディスカッション テーマ 村上春樹文学における「運命」 会場 驚声国際会議センター 司会 曾 秋桂(淡江大学村上春樹研究センター長)	パネリスト① 范 淑文(台湾大学教授) パネリスト② 賴 錦雀(東呉大学特聘教授) パネリスト③ 余 盛廷(台北科技大学教授) パネリスト④ 周 玉慧(台湾中央研究院研究員) パネリスト⑤ 邱 若山(靜宜大学教授) パネリスト⑥ 齋藤 正志(中国文化大学教授) パネリスト⑦ 曾 秋桂(淡江大学教授)
1600-1630	総合討論	
1630-1640	閉会式 会場 驚声国際会議センター 閉会挨拶 曾 秋桂(淡江大学教授兼村上春樹研究センター長・日本語文学科主任)	
1700-1900	懇親会 会場 將捷金鬱金香酒店・河畔餐廳(暫定) (新北市淡水区中正路一段2號)	

主 催 淡江大学村上春樹研究センター・淡江大学日本語文学科
共 催 科技部・台湾日本語教育学会
後 援 公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所